國學院大學学術情報リポジトリ

写真発明200 年記念企画ワークショップ 第２弾　「研究者のための撮影術３：アウラの行方」（共催）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001538

写真発明200年記念企画ワークショップ 第２弾「研究者のための撮影術３―アウラの行方」（共催）

2022年12月10日（土）、写真発明200年記念企画ワークショップ第２弾「研究者のための撮影術３―アウラの行方」を開催した。開催概要は以下の通りである。

【日時】2022年12月10日15:30～18:30
【場所】國學院大學渋谷キャンパス120周年記念２号館2103教室〈対面〉
【講演者・題目】
・露口啓二（写真家）「アイヌの地を撮る」
・川瀬慈（映像人類学者・国立民族学博物館准教授）「憑依する人を撮る」
【解説】港千尋（写真家・多摩美術大学教授）
【司会】平藤喜久子
【主催】科研費（基盤研究Ｂ）「日本宗教教育の国際的プラットフォーム構築のための総合的研究」（代表：平藤喜久子）
【共催】日本文化研究所

本ワークショップは、同科研主催のワークショップ「研究者のための撮影術―カメラは悪くない！」（2020年12月28日開催）、写真発明200年記念企画ワークショップ「研究者のための撮影術２―光あれ！」（2022年１月24日開催）に続くもので、国際研究フォーラム「ミュージアムでみせる宗教文化」の関連催事として開催された（本誌15号トピック４、本号トピック１参照）。

露口氏は、写真集『自然史』（赤々舎、2017年）、『地名』（赤々舎、2018年）の作品を例示しながら、自身の作品制作の手法・主眼について講じた。『自然史』は人間の活動の場を浸透していく「自然」を、『地名』はアイヌ語に起源を有する地名を視覚的に捉えた作品である。「平凡な風景」写真と、時間や場所を隔てたフレームの「外部」を繋げるといった具体的な制作手法に及ぶ内容であった。

川瀬氏による講演

川瀬氏は、短編映像作品『精霊の馬』（英題：When Spirits Ride Their Horses、28分、2012年）を紹介し、エチオピアのザールという憑依儀礼をとらえた同作品について講じた。映像を流しつつ、精霊を迎え入れるため、匂いや音、光や踊りによって儀礼の場を「あたためる」必要があり、その場を撮影するカメラも儀礼に合わせて揺れ動くようすなどについての解説がなされた。

両公演の後には、過去２度のワークショップに参加した港氏によって、写真の撮影技術に関する解説がなされたほか、当学の学生が持ちよった「失敗写真」に対して、各登壇者らによって技術的な助言がなされた。

また一連のワークショップに寄せられた「失敗写真」への助言や、登壇者を含めた写真家や宗教学者らが執筆した論考を集めた『〈聖なるもの〉を撮る』（本号出版物紹介参照）が2023年８月に刊行された。

（平藤喜久子）